

HMC-4

取扱説明書

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

© B62-0283-28

お買上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご注意

自転車、バイク、自動車等を運転中は、交通安全のためご使用しないようお願いします。
また、電車の踏切り等の危険を知らせる警告音のある場所でのご使用は、充分にご注意ください。

■ 主な機能

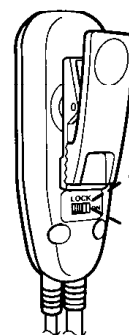
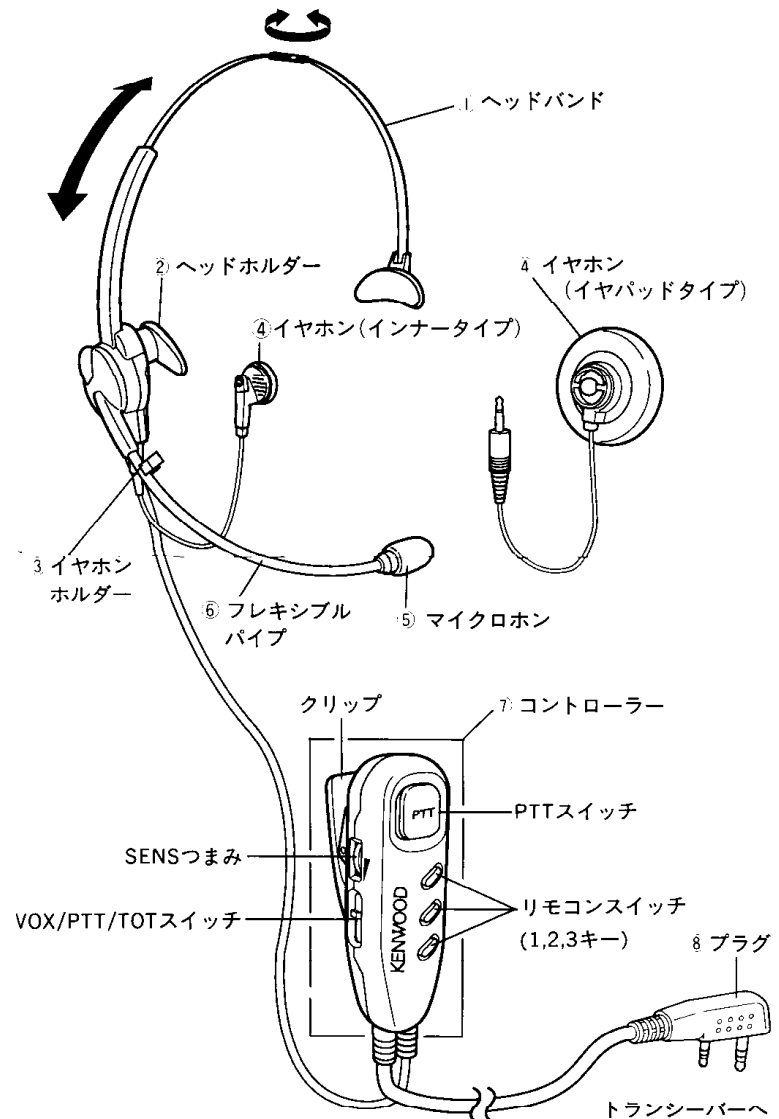
- リモコンスイッチ(1, 2, 3 の各キー)にトランシーバーのキー機能の一部を、割り当てることができる、**リモコン機能**。
- 音声で自動的に送信、受信の切り替えができる**VOX(ボックス)機能**
- PTTスイッチを押しながら送信することができる**PTT(ピーティーティー)機能**。
- PTTスイッチを押したときから、一定時間送信を維持する**TOT(タイムアウトタイマー)機能**。

■ 主な定格

- マイクロホン
エレクトレット型コンデンサマイク
- イヤホン
オープンエア型ダイナミックイヤホン
- TOT(タイムアウトタイマー)
2～4分の範囲で固定式
- 消費電流 5.5mA以下
- 動作温度範囲 -10℃～+50℃

電源はトランシーバーより供給されます。

■ 各部の名称



LOCKスイッチをONにすると、リモコンスイッチ(1,2,3キー)の動作を無効にすることができます。

ご注意

リモコン機能に対応していないトランシーバーでご使用するときには、LOCKスイッチをOFFにしておきますとイヤホンから音が出ません。必ず、ONの位置でお使いください。

■ 各部の機能

① ヘッドバンド

イヤホンやマイクロホンを保持するバンドで、中央部の回転部分を開いて使用します。

伸長式になっていますので、長さを調整してください。

② ヘッドホルダー

インナータイプのイヤホンをご使用のとき、ヘッドバンドを、頭部に固定することができます。



③ イヤホンフック

インナータイプのイヤホンを、フレキシブルパイプに固定します。収納等のとき使用します。

④ イヤホン

インナータイプとイヤパッドタイプがあります。好みに応じて使いわけてください。

⑤ マイクロホン

フレキシブルパイプの付け根の部分で、上方向に回転します。左右どちらでも使用ができます。

⑥ フレキシブルパイプ

自由に曲がりますので、マイクロホンの位置が調整できます。通常は口もと1～3cmぐらいにマイクロホンを調整します。

⑦ コントローラー

交信に応じて使用します。使用方法は、ご使用の項をお読み下さい。

⑧ プラグ

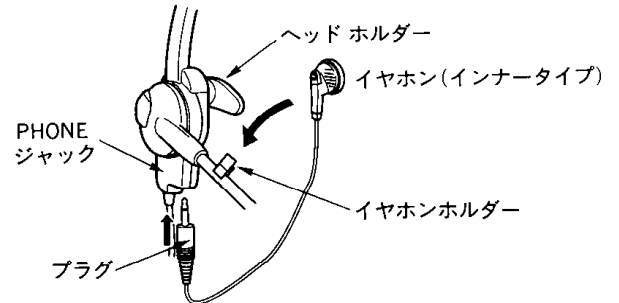
トランシーバーのスピーカ、マイク端子に挿入します。

■ イヤホンの選択

HMC-4のイヤホンは、インナータイプとイヤパッドタイプの2種類があります。

イヤパッドタイプをご使用になる場合は、ヘッドホルダーを外してください。

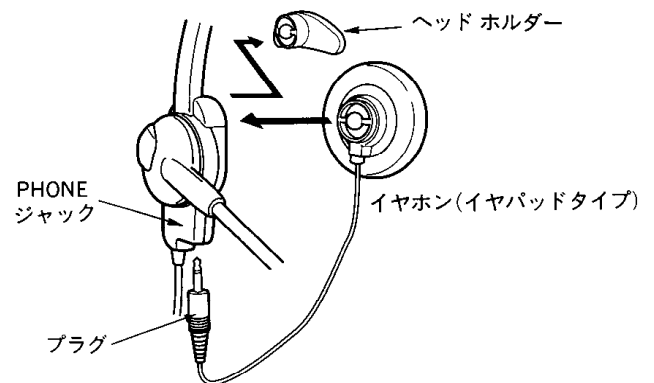
A: インナータイプの取り付け



1. コードのプラグを持って、ジャックに確実に押しこみます。最後まで押しこまないと、音が出ない原因となります。
2. 使用しないときは、イヤホンをイヤホンホルダーに挟んでおきます。

プラグを抜くときは、コードを引っ張らず必ず、プラグを持って抜いてください。

B: イヤパッドタイプの取り付け



1. ヘッドホルダーを外します。
2. ヘッドホルダーが付いていた所に、イヤホンの突起の部分、挿入します。
3. コードのプラグを、ジャックに確実に押しこみます。最後まで押しこまないと、音が出ない原因となります。

はずした部品は、無くさないように保管してください。

■ 装着

ご注意

1. ヘッドセットのプラグを抜き差しする前に、トランシーバーの電源スイッチをOFFにしてください。
2. トランシーバーのスピーカーと、HMC-4のイヤホンでは音量に差があります。HMC-4のイヤホンの方が、大きい音量になりますのでヘッドホンを装着する前には、必ずトランシーバーの音量をしぼってから耳につけてください。

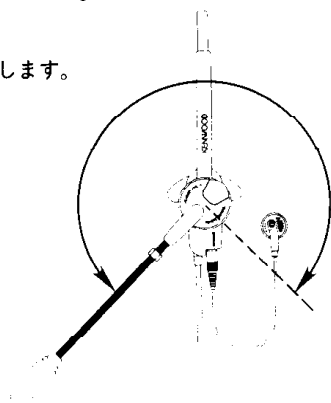
● トランシーバーの準備

1. 受信音量を最小にします。
2. 電源をOFFにします。

● ヘッドセットの準備

1. ヘッドバンドを開きます。
2. イヤホンの位置を、右もしくは左(聴きやすい方の耳)にします。
3. フレキシブルパイプの根本を図の矢印の方向に回転させて、マイクロホンの位置をセットします。

300度回転します。



● ヘッドセットの装着

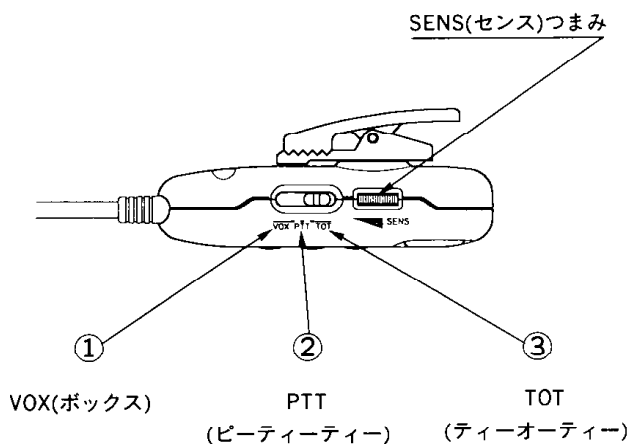
1. ヘッドバンドを、頭部に装着します。
2. イヤホンを耳に装着します。
3. マイクロホンが口先から1～3cmのようになるように、フレキシブルパイプを曲げて調節します。
4. コントローラー裏側のクリップで、ポケット等に固定します。
5. トランシーバーのスピーカ、マイク端子に、ヘッドセットのプラグを接続します。
6. トランシーバーの電源をONにして、受信音量を聴きやすい音量に調節します。

ご注意

音量は耳を刺激しないように、あまり大きくしないでお使いください。

■ ご使用

HMC-4はVOX/PTT/TOTスイッチにより、交信の方法を3通りに切り替えて、ご使用できます。



① VOX(ボックス)による使用

VOX マイクロホンに入る音で、送受信を切り替える機能です。

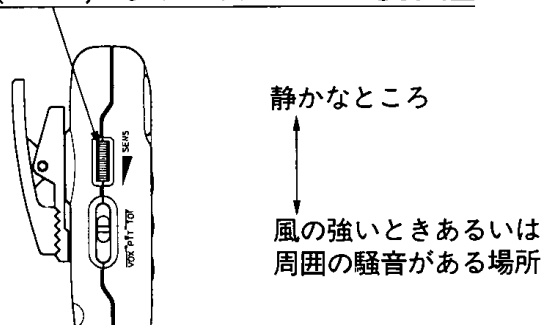
1. VOX/PTT/TOTスイッチをVOXの位置にします。

トランシーバーの電源を入れたときから、または、VOX/PTT/TOTスイッチをVOXにしたときから、VOX機能が動作するまで数秒かかります。

2. マイクロホンに向かって話したとき、送信になるようにSENSつまみを調整します。

周囲の騒音が大きい場所や風が強い場所で、VOXが誤動作するときは下側に回します。

SENS(センス)つまみ:マイクロホンの感度調整



3. マイクロホンに向かって話します。
声を出している間は送信になり、話しをやめると約1秒後に受信に戻ります。

ご注意

VOXによる使用中でも、PTTスイッチを押すと送信になります。

VOXのご使用は、送信の立ち上がり時、または相手局がスケルチを使用しているときの、スケルチの開く時間等によって、頭切れを起こし2～3語程度、相手に通じないことがあります。これを避けるために、「了解」等の言葉で、VOX回路を動作させてから、交信に入ることをおすすめします。

② PTT(ピーティーティー)による使用

PTTスイッチを押すと送信になり、離すと受信に戻ります。

1. コントローラーのVOX/PTT/TOTスイッチをPTTの位置にします。
2. PTTスイッチを押して送信にします。
3. PTTスイッチを押しながら、マイクロホンに向かって話します。
4. PTTスイッチを離すと、受信状態に戻ります。

③ TOT(タイムアウトタイマー)による使用

TOT PTTスイッチを押すと一定時間送信状態を保持し、タイムアウト(2～4分)になると自動的に受信状態に戻る機能です。送信状態の途中で受信に戻すには、もう一度PTTスイッチを押します。

1. コントローラーのVOX/PTT/TOTスイッチをTOTの位置にします。
2. PTTスイッチを押すと送信状態になり、TOTが動作しはじめます。
3. 一定時間(2～4分)たつと自動的に受信に戻ります。
4. PTTスイッチを押して一定時間送信状態のとき、再び、PTTスイッチを押すと受信状態に戻ります。

■リモコン操作

リモコン機能に対応されているトランシーバーでは、HMC-4のリモコンスイッチ(1,2,3の各キー)に、トランシーバー本体の機能を設定できます。

設定方法および各キーの機能については、使用するトランシーバー本体の取扱説明書にあるリモートコントロール・スピーカマイクロホンの部分をご覧ください。

特定小電力トランシーバーで TOTによる運用をする場合

特定小電力トランシーバーでは、送信時間の制限が定められています。

このため、HMC-4がタイムアウトになる前に自動的に受信に戻ることがあります。(HMC-4はまだ送信状態になっています。)

この場合、特定小電力トランシーバーを再び送信状態にするには、一度、HMC-4のPTTスイッチを押して受信状態にします。

更に、もう一度PTTスイッチを押すと、送信状態となります。

※ 特定小電力トランシーバーで、送信時間の制限が働いて受信に戻った場合は、トランシーバー側の機能により、約2秒間送信できません。

■その他

1. 内部に水分が入ると誤動作の原因となります。雨や雪の中でのご使用時には、十分ご注意ください。
2. 故障と思われたら、もう一度この取扱説明書をよく読んで、使用方法に間違いがないかどうかご確認ください。
3. それでも調子の悪いときは、ご使用のトランシーバーと一緒に、お近くのケンウッドサービス窓口にご相談下さい。
4. 修理のご依頼は、持ち込み修理とさせていただきます。あらかじめご承知ください。

品質保証のご案内

1. 保証条件 正常な使用状態において、製造上の不備に起因する故障の生じた場合はお買い上げの日から1か月は無償修理いたします。この場合は領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示が必要です。
2. つぎの場合の修理は保証期間内でも有償となります。
 - (1) 製造上の不備に起因する故障以外の外因的(お取り扱い不適当など)故障
 - (2) 領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示のない場合(領収書などを必ず保管ください)